



ジョブサポートYOU 旭ヶ丘
管理者 / 係長

山田 俊

人材サービスYOUのジョブサポートYOU旭ヶ丘で管理者を務めている山田俊は、2021年に入社した。福祉業界には約20年携わってきた経歴がある。大ベテランの山田、長く続けられている理由はどこにあるのか。印象に残っている出来事や仕事に感じるやりがい、今後の展望などについて語ってもらった。

社会に必要な仕事

山田が福祉業界への就職を志したのは高校のとき。ちょうどその頃、介護保険が導入され、介護に関する報道が多くなり世間の注目を集めていた。介護が今後の社会にとって必要不可欠な分野であると強く感じ、大学では福祉を専攻。そのまま福祉関連の会社へと進んだ。就職後は障害者支援の業務に就きやりがいを感じていたのだが、しばらくすると人事異動で担当業務が変わってしまった。障害者支援の



仕事を続けたいという思いが強く、転職活動を開始したところでもこみケアと出会い、仲間となった。現在は、事業所の管理者と事業者サービス管理責任者の両方を兼務している。事業所の管理者としては安定的な運営に全力を尽くしつつ、事業者サービス管理責任者として、ゲストの状況を把握し、支援計画書の作成などの業務をスタッフと協力して進めている。

忘れられない出会い

これまでで一番印象に残っているのは、入社してすぐに出会ったゲストだ。自分を抑えられずに周囲につかみかかることがよくあり、施設側でも支援がうまくいかずに悩んでいた。しかし事業所外の専門家を交えた支援を行ったところ、徐々に落ち着いて過ごせるようになっていく。

「障害者特性を理解しながら、半年以上サポートした結果、だいぶ安定した生活を送れるようになりました。その人らしく過ごしてほしいという思いで接していたため、改善して本当に良かったと思いました。この出来事は私の中で成功体験として強く残っており、福祉業界で働くモチベーションにもなっています」。

プロリーグの審判

日々意欲的に仕事に取り組んでいる山田だが、休日は趣味のバス



ケットボールを楽しんでいる。以前はプレイヤーとしてバスケットボールをしつつ、審判も務めていた。現在は上位のライセンスを取得し、ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグの審判を担当している。この職場では夜間勤務がないため、趣味の活動と両立できているという。

さらなる成長を

福祉業界でのキャリアは長いが停滞感はあまりなく、こみケアに入社後も自身の成長を感じている。今後も成長し続けられるよう、日々の業務に精進していくのが目標だ。時代の変化にも対応しながら、スキルアップしていきたいと考えている。

「ゲストのみなさんがより良い生活を送るために、サポートしていきたい」と語った山田。これからもより一層輝きを増していくことだろう。

山田 俊さん どんなんな人？

Q1. 山田さんを一語で表すと？

頼れる先輩



ジョブサポートYOU
旭ヶ丘
あらい りょうけい
新井 良介さん

Q2. 山田さんの「すごいところ」を教えてください

要領よく業務をこなし、何でもできる所が本当に凄いです。特にパソコン技術は目を見張るものがあります。

Q3. 思い出エピソードを教えてください

落ち着かないゲストや体調が不安定なゲストへの支援方法について悩んでいるときに、話を聞いたり、一緒に支援方法を考えたりしていただき、本当に救われました。

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

山田さんとは前職でも同じ法人でした。また一緒に勤務することができ、嬉しく思いますし、本当に感謝しております。ありがとうございます。うるさくしてしまうこともあります。今後ともよろしくお願いたします！



ジョブサポートYOU
旭ヶ丘
たかはし みみ
高橋 美穂さん

Q1. 山田さんを一語で表すと？

完璧！なのに面白い

Q2. 山田さんの「すごいところ」を教えてください

困ったときに的確にアドバイスして下さる頼りになる上司です。たまに面白いジョークが出てくるというギャップも魅力です。

Q3. 思い出エピソードを教えてください

事業所内のレクリエーションで美味しい芋煮を作ってくれたこと。作り方はワイルドでしたが、率先して料理をしていただき楽しい思い出になりました。

Q4. 感謝や激励のメッセージをお願いします！

いつもやさしく見守ってくださりありがとうございます。ふとした瞬間に出てくる面白い一面も素敵です！これからもよろしくお願いたします。

誰からも頼りにされる山田さん。身近で働く皆さんは、どんなところを心強く感じているのでしょうか。山田さんの魅力に迫ります。

★新事業所のご紹介★

～生きがい工房VarietyRoad編～

2024年10月に新たなスタートを切った「生きがい工房VarietyRoad」。
音楽に造詣が深い山下さんに、生きがい工房ならではの魅力について語っていただきました。



私を紹介
します！

生きがい工房VarietyRoad
管理者／係長
やました けい
山下 圭さん

01 「生きがい工房VarietyRoad」 ってこんなところ！

2024年10月からここみケアに仲間入り！

生きがい工房の立ち上げから10年以上、運営に携わってきましたが、運営会社の事情により、他社に運営を依頼することに。そして2024年10月より、「ここみケア」の一員として新たなスタートを切りました。ここみケアなら、介護のスペシャリストも多数在籍しており、様々な連携と支援が受けられる。心強い後ろ盾を手に入れたような気がしています。

02 ココが自慢！

音楽を中心に、好きなことが自由に楽しめる

私は以前、とあるミュージシャンの付き人をしていました。その頃の経験を活かし、ギターやコーラス、バンド演奏などによる音楽療法、意欲誘導を行っています。音楽を利用した「想起機能トレーニング」では、昔聞いた歌で記憶を呼び起こし、脳の機能の活性化を促進。さらに、様々な曲を演奏するドラムパフォーマンスで意欲を高めています。

その後は、ゲストが自由に選べるクラブ活動へ。コーラスクラブでは、外部から招いた先生の演奏で第九をドイツ語で歌い、麻雀クラブでは、昔雀荘で働いていた方が直々にルールを教え、本格的な実践形式でゲームを行っています。このほか、創作クラブで作っ



たつるしびなを乳児院や介護教室に贈るなど、社会参加活動も積極的に実施。地域との関わりの中で自分に何ができるのかを考え、主体性と社会性を持ちながら、生き方を自分自身で決めることができる環境です。

03 「他の事業所に負けなさい！」魅力

本当の家族のような関係

ゲストとキャストは、たとえて言うなら家族のような関係。本当の息子や娘、孫のように親しみを持って接しています。甘える・甘やかす関係ではありません。特に重要視しているのは、運動機能が低下しないような活動を行うこと。太鼓の演奏など、楽しく筋肉が鍛えられる独自のプログラムも実施しています。

04 今後の目標

生きがい工房は介護における入口。いずれ介護が必要になったとしても、ここみケアなら、グループ内の別の事業所をご紹介することもできます。将来的にはここみケアで、楽しみながら人生を完結できるような体制を確立できればと考えています。



05 一緒に働く 皆さんのメッセージ

「VR」に込められた思い

キャスト各々が持つ責任は大きいですが、責任の重さを感じながら働くことで、将来的に福祉の業界をリードする力が身についていくはず。 「VarietyRoad」略して「VR」は、生きがい工房の皆さんの人生を「VictoryRoad」にするという意味も込められています。その意味を、改めて心にとめておいてください。

ハッピープラン プロジェクトメンバーズ

2024年10月

Vol. 1

10月度のご紹介

投稿者



グループホーム
ここさいむら齊業

なりさわ しずか
成澤 静香さん

投稿日: 2024.10.31

2024年10月31日、「ここさいむら齊業」では午前午後の2回にわたってイベントを開催！
保育園の子どもたちのハロウィンイベントや、いつもよりパワーアップしたレクなど、
ゲストの皆さんも大喜びの特別な1日について、成澤の投稿をご紹介します。

イベント内容

10月31日、午前中は保育園の子供等がハロウィンイベントで遊びに来てくれました😊可愛い歌と踊りを披露してくれゲスト、キャストと共に癒され皆満面の笑顔になりました！プレゼントで可愛いお守りを頂き喜びの声が聞かれました。

午後からはお楽しみ会をしました。2匹の馬を競争させるゲーム（馬はペットボトルやトイレットペーパーの芯などで阿部キャストの手作り）は盛り上がり、阿部キャストの小断タイム（今回はハロウィンの小断）では皆真剣に話を聞いてました。おやつには焼き芋が食べたいとの声がありましたが焼けなかったので、ふかし芋を用意しました。皆さん美味しいと食べてくれ良かったです。協力してくれたスタッフに感謝です。

投稿の経緯

1日2イベントで 皆さんが盛り上がる様子を伝えたい

2024年10月31日に、保育園の子どもたちが遊びに来てくれるということで、子どもたちとの交流を紹介したいと思ったのです。また、午後から開催したお楽しみ会が盛り上がりましたので、ゲストの皆さんが喜んでる様子を紹介したいと思い投稿しました。

保育園からハロウィンイベントとして遊びに来てくれるというお話をいただき、それを受けて、「私たちもお楽しみ会をしよう!」ということになったのです。通常イベントは月1回ですが、今回は、午前は保育園の子どもたちとハロウィンイベント、午後はお楽しみ会にして、1日かけて楽しもうということになりました。

ゲストの皆さんが疲れてしまうのではないかと不安もありましたが、逆に、疲れを吹き飛ばすくらい盛り上がるように工夫しました。そのため、競争系のゲームを選んだり、座って楽しめるものにしたたり、応援するゲストの方が立たないで済むようソファも用意しました。おやつも、日頃からのゲストの皆さんの要望に応じて、焼き芋をつくらうということになりました。最終的にはふかし芋になってしまいましたが皆さん大変喜んでくれました。



実施後の感想

毎月のレクとは違う特別感を演出できた喜び

今回は月1回行っているレクの内容以上に盛り上がってほしいと思いながらゲームやおやつを準備しました。結果として、ゲストの皆さんから盛り上がりを感じることができ、キャストにとっても思い出に残るイベントになったと思います。一番大変だったのはキャストのあべさん。ゲームで使う馬を手作りしたり、お楽しみ会の座席を決めてくれたり。相性の悪いゲスト同士もありますので細かいところまで気を配っていただきました。

一緒に働く皆さんへメッセージ

私はまだまだ覚える仕事が多く、一緒に働くキャストの皆さんに助けていただければ幸いです。早く皆さんのお役に立てるように頑張りますので、これからもよろしくお願いします。



課長対談

Relation gate Groupの 未来を考える

管理課長

あさぬま りょうへい
浅沼 亮平さん

Ryohei Asanuma

人事労務課長

いけだ こうじ
池田 幸司さん

Koji Ikeda

営業課長

たかくら まさむね
高倉 正宗さん

Masamune Takakura

3名の課長たちによる対談企画が実現! 部署の垣根を超え、Relation gate Groupの未来について本気で語り合っていました。激動の時代を生き抜くために必要なものとは? 皆さんもぜひ一緒に考えてみてください。

企業として成長していくためにクリアすべき課題

高倉 営業としては、やはり集客とお客様満足度の部分を強化したいと考えています。集客に関しては、まず事業所ごとの目標数値をクリアすること。お客様満足度については、「HAPPY PLAN PROJECT MEMBER」の取り組みをしっかりと定着させていくことが大切だと思います。年に3回実施しているゲスト向けのアンケートも活用しながら、全社で意識を高めていきたいところです。

池田 人財確保も重要な課題だと考えます。採用活動や離職防止の取り組みを強化していく必要があるのではないのでしょうか。事業所の運営を考え

れば、柔軟なシフトに対応できるフルタイムの方が理想です。若手が少ないため、新卒採用にも力を入れていきたいと思っています。

浅沼 当社の売り上げのほとんどは、介護や障害などの保険制度を利用した事業が占めています。介護事業は20年後をピークに衰退していくというデータもあり、長く会社を存続させていくためには新たな事業への挑戦が欠かせません。未来を見据えてシフトチェンジの方向性も考えていく必要があると思います。

課題解決のためのアクション

高倉 前期から管理者たちも営業や集客に直接携わるようになり、だいぶ定着してきたように思います。障がいグループの新規開拓を含め、これまでの活動を継続していくことが今は大切だと思っています。

池田 うちの課では採用担当を1名増員し、より採用活動に注力できる体制を作っているところ。代表（兼子社長）を含めた打ち合わせを毎週繰り返す中で、「採用コストの削減」や「ターゲット層の選定」など様々なテーマについて擦り合わせている最中です。

浅沼 海外キャストの採用をどう進めていくか、受け入れるためのスキームをどう構築していくかも考えていかなければいけませんよね。今後はますます増えていくと思いますし。

高倉 20～30代の若い世代の確保も大切だと思います。

池田 そうですね。幅広い人材に活躍してもらえるような環境作りも必要だと思います。

浅沼 保険以外の事業に関しては、福祉とかけ合わせたサービスを始めるのか、全く新しいビジネスに参入するのか、あらゆる可能性を考え吟味していく必要があると思うのですが、いかがですか？

池田 スピード感のある代表のことなので、当然そういったことも視野に入れて方針を決められていると思います。私たちのような立場の人間がやるべきは、その変化に耐えうる組織の土台をしっかりと構築していくことかもしれません。

高倉 保険以外という部分では、私もまさにセミナーなどに参加しながら勉強しているところです。私自身、将来的には「子ども食堂」を運営してみたいという夢もあります。子どもからお年寄りまで幅広い層にサービスを提供できる会社になれば良いですね。

社員の皆さんへ伝えたいこと

高倉 今は宮城県内が中心ですが、「日本中に笑顔を創る法人になる」という当社のビジョンを体現できるよう、どんどん活動を広げていきたいと考えています。そのためにも、支援させて頂いているゲストの方の満足度向上と集客力を一緒に高めていきましょう！

池田 変化の激しいこの時代、未来を描くのは簡単なことではないかもしれませんが、それでも皆さんがやりがいを持ち、少しでも働きやすいと思えるような環境作りに力を入れていきたいと考えています。ゲスト、キャストともに当社のファンを増やしていきたいですね！

浅沼 会社として成長していくためにも、まずは目の前のゲストのケアをしっかりと行っていくことが大切だと思っています。現場の皆さんが本来業務に集中できるよう、バックオフィスとしても最大限のサポートをしていくつもりです。必要な方に必要なサービスをお届けできる仕組みを、一緒に考え実現していきましょう。

Interview

